



東北大学

平成22年10月 7日

報道機関 各位

東 北 大 学

「東北大学サイエンスカフェ in 気仙沼」のご案内

「東北大学サイエンスカフェ」は、コーヒーカップを片手に市民と研究者がサイエンスについて気軽に話し合いサイエンスの楽しさを知ってもらう場として、月一回仙台市のせんだいメディアテークで開催しているイベントで、毎回好評を博していますが、この度、気仙沼市との共催で「東北大学サイエンスカフェ」を気仙沼市地域交流センターで開催することとなりました。

今回のサイエンスカフェでは、東北大学大学院農学研究科 吾妻行雄教授を講師に「ウニ ～海のハリネズミの驚きの世界～」というテーマで開催します。

ウニは鋭い棘と固い殻の鎧をまとい、英名で sea urchin “海のハリネズミ”とよばれており、繁殖期には、鎧の中は私たちが食用とする生殖巣で満たされます。日本は世界で漁獲される8割以上のウニを食する最大の消費国ですが、海底でどのように生活しているのかはほとんど知られていません。今回のサイエンスカフェでは、ウニが海底の生物社会においてどのような役割を担っているのか、世界の海底を散歩しながらみてみましょう。

現在、参加申込受付中です。ぜひ多くの皆様、特に高校生の方に多数ご参加いただきたく、記事およびカルチャースクールやイベントコーナーへの掲載方、よろしく願い申し上げます。

< 記 >

東北大学サイエンスカフェ in 気仙沼 「ウニ ～海のハリネズミの驚きの世界～」

開催日：2010年11月16日（火）18:00～19:45

会 場：気仙沼市地域交流センター大ホール（ワン・テン庁舎2階）

講 師：吾妻行雄（東北大学大学院農学研究科 教授）

< 申込方法 >

FAXまたはメールで「サイエンスカフェ気仙沼申込」と明記し、氏名・年齢・連絡先電話番号をご記入の上、10月31日まで下記宛お申し込みください。

メール：kyosomu@city.kesenuma.lg.jp FAX：0226-23-0943

この件に関するお問い合わせ先：

東北大学総務部広報課

Tel 022-217-4977 Fax 022-217-4818

国立大学フェスタ 2010 



Tohoku University
 **Science Café**
in kesennuma
東北大学 サイエンスカフェ in 気仙沼

「ウニ ～海のハリネズミの驚きの世界～」
吾妻 行雄 (東北大学大学院農学研究科教授)

日時 2010年11月16日(火)18:00～19:45

場所 気仙沼市地域交流センター 大ホール(ワン・テン庁舎2階)

事前のお申込が必要です。定員100名(先着順)

お申し込み方法

FAXまたはメールで「サイエンスカフェ気仙沼申込」と明記し、
氏名・年齢・連絡先電話番号をご記入のうえ、
10月31日までお申込ください。

[個人情報のお取り扱いについて]

ご連絡いただいた個人情報は、本講演の申込状況の把握、参加のご確認以外に使用することはありません。

メール kyosomu@city.kesennuma.lg.jp **FAX** 0226-23-0943

**参加費
無料**

サイエンスカフェとは?

「サイエンスってむずかしい」、「質問したいことがあるけれども誰に聞いたらよいかわからない」
サイエンスカフェとは、そう思っている人たちと科学者が、ドリンクを片手にサイエンスについて
気軽に話し合い、サイエンスの楽しさを知ってもらう場です。

お問い合わせ/東北大学総務部広報課 Tel /022-217-4977

【主催】 東北大学、気仙沼市、気仙沼市教育委員会 **【後援】** 三陸新報社、三陸河北新報社、気仙沼ケーブルネットワーク

※開催の様子をカメラ等で撮影し、東北大学において、その写真をホームページ等の広報用を使用する場合がありますのでご了承下さい。

Tohoku University Science Café

最初に、取り上げた話題に関する最新の研究成果を講演者が分かりやすく紹介します。

次に、ラウンドテーブルごとのトークタイムとして、それぞれのテーブルに

東北大学の学生・教員がファシリテーターとして参加し議論します。

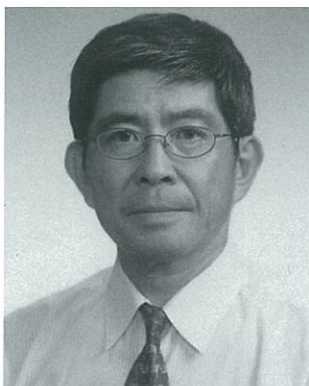
最後は、全体的な質疑応答の時間とし、ラウンドテーブルでの議論で出た質問に講演者が答えます。

「ウニ ～海のハリネズミの驚きの世界～」 吾妻 行雄 (東北大学大学院農学研究科教授)

講演内容

ウニは鋭い棘(とげ)と固い殻の鎧(よろい)をまとい、英名で sea urchin “海のハリネズミ” とよばれる。繁殖期には、鎧の中は私たちが食用とする生殖巣で満たされる。日本は世界で漁獲される 8 割以上のウニを食する最大の消費国である。しかし、ウニが海底でどのように生活しているのかはほとんど知られていない。海藻と共生してウニの数が増減し、成長や生殖巣の発達も左右されて資源が変動する。沿岸岩礁海底の生物社会をも大きく変えるウニのダイナミックな世界を、世界の海底を散歩しながらみてみましょう。

講師紹介



あがつま ゆきお
吾妻 行雄 東北大学大学院農学研究科教授

1954 年生れ。福岡県出身。東北大学大学院農学研究科教授。78 年東北大学農学部卒業。北海道立函館水産試験場、北海道立中央水産試験場、北海道原子力環境センターをへて 97 年東北大学農学部助教授、2010 年より現職。スキューバ潜水歴 31 年。研究のアイデアは現場での観察と漁業者の話を聞くことに尽きる。ウニの生物学・生態学・水産学に関する著書多数。



■会場

気仙沼市地域交流センター 大ホール(ワン・テン庁舎2階)
住所 〒988-8502 気仙沼市八日町1-1-10
TEL 0226-22-3442

■お問い合わせ

東北大学総務部広報課
住所 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1
TEL 022-217-4977
<http://cafe.tohoku.ac.jp/>